

部活動などの活躍

<<陸上競技部>>

第69回 荒川区民体育大会

第1位 男子1500m ○○○○くん(2-3)

女子 800m ○○○○さん(1-3)

第2位 女子4×100mリレー ○○○○さん(2-1)、○○○○さん(2-1)、
○○○○さん(2-2)、○○○○さん(2-3)

男子1500m ○○○○くん(2-1)

第3位 男子100m ○○○○くん(2-3)

女子100m ○○○○さん(2-1)

第72回 東京都中学校支部対抗陸上競技選手権大会 男子2年1500m

第3位 ○○○○くん(2-3)

<<バスケットボール部女子>>

荒川区中学校バスケットボール新人大会 **優勝**



陸上部の皆さん



バスケットボール部
女子の皆さん

本校に空手部はありませんが、校外のクラブチームで活躍する生徒もいます。

○○○○くん(2-1)

第69回荒川区民体育大会 空手道競技 **優勝**

○○○○さん(1-3)

東京都スポーツ少年団大会

中学1年女子組手 **第3位**

中学1年女子形 **第3位**

〔前月号について訂正とお詫び〕 連合体育大会の記録について○○○○くんが1500m走で出した大会新記録は、正しくは4' 23" 79でした。ここに訂正し併せてお詫び申し上げます。

南千住マイスターのコーナー

この劇にはこれまでで紹介した「もどれずの狐」や「フクミミカエル」千住大橋の「大亀」片目の大鯉なども登場して、会場を沸かせました。



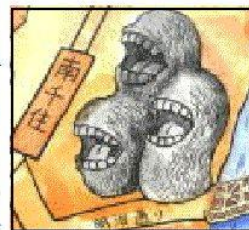
生徒演じることだま返し

昔(江戸時代から明治初期にかけて)、南千住には「小塚原処刑場」がありました。江戸から連れてこられた罪人は、小塚原刑場の入り口にあたる「泪橋」まで来ると、身内や親しい人との最後の言葉を交わしたといわれています。しかし、中には身内もなく、誰とも別れを告げられなかった人もあり、「ことだま返しは」その思いがこの地にしみついた変化(へんげ)とされています。現在、橋はなく、下を流れていた「思川」も暗渠(ふたをさされて見えなくなった流れ)となり、その当時のようすを偲ぶものは、明治通りの交差点名だけになってしまいました。しかし、このあたりでは、今でも「泪橋の交差点付近で電車とは違う音が聞こえたら気をつけろ」と語り継がれています。

先日行われた南千住二中の文化祭(霜月祭)では、2年生の劇に、この「ことだま返し」が登場しました。南千住二中の5人の生徒が、地域に語り継がれている妖怪の調査に出かけます。そして「泪橋」でこの「ことだま返し」に出会い、おじいさんにその言い伝えを教えてもらおうという話です。電車の音に紛れて聞こえてくる「ウォーン、ウォーン」という音に、会場も引き込まれていきました。

この劇にはこれまでで紹介した「もどれずの狐」や「フクミミカエル」千住大橋の「大亀」片目の大鯉なども登場して、会場を沸かせました。

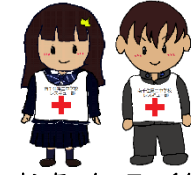
『ことだま返し』 すみだ川妖怪絵巻 2025



協力:
NPO法人
千住すみだ川



題字:校長 齊藤 進



ナンちゃん・ニーくん



学校だより 100th
令和元年11月
第100号
荒川区立南千住第二中学校

“河口” として “Journey to Harmony”

校長 齊藤 進

11月9日(土) 皇居前広場で行われた天皇陛下御即位をお祝いする国民祭典の招待状を頂き参加する機会に恵まれました。

最初に登壇した芦田愛菜さんのお祝いの言葉を皮切りに各界の著名な方々のあいさつが終わると、ライトアップされた天皇皇后両陛下が二重橋にお出ましになられました。そして、奉祝曲 第三楽章からなる組曲「Ray of Water」の演奏が始まりました。第1楽章はオーケストラの演奏、第二楽章は辻井伸行さんによるピアノ演奏、第三楽章は「嵐」によるJourney to Harmonyが披露されました。

御即位をお祝いするとともに私たち国民一人一人に希望と勇気を与えるJourney to Harmonyの歌唱に感動しました。お聴きになられ涙する皇后陛下のお姿と昨年全国赤十字大会でレスキュー部部長の○○○○くんの発表を熱心にお聴きになられたお姿が重なって心優しい皇后陛下に感銘を受けました。天皇陛下の最後のお言葉では台風19号などで被災された方々と亡くなられた方々への哀悼が述べられ、いつもご心配されているお気持ちが伝わってきました。

さて、霜月祭と創立30周年記念式典で披露した3年生の合唱曲“河口”では3年生の○○○○くんにより『僕たち3年生が挑戦する河口は、筑後川という5楽章からなる合唱の最後の曲です。』

雨粒一滴である僕たちがみんなでそろって川となり、様々な苦難や楽しいこと、素晴らしい体験を経て河口を目指し大きな海へと旅立っていきます。中学校生活最後の年にふさわしい曲を心を込めて歌います。』と曲が紹介されました。

Journey to Harmonyの一節に『はじめはどこかの 岩かげにしたたり 落ちたひとしずくの 水が平野流れ やがて研ぎ澄まされ 君をうるおし 鳥たちをはぐくみ 花たちとたわむれ あの大川だって はじめはひとしずく 僕らの幸せも 大河にすればいい』があります。

どちらも人の成長と幸せが川の流れにたとえられて歌に込められています。アリーナにこだました“河口”と嵐の“Journey to Harmony”、どちらも深い感動を覚えました。

学校の役割とは生徒一人一人を幸せにすることであると常々思っています。3年生が南二中で成長し続け幸せな学校生活を送りこの学校で学んでよかったとの思いを込めた“河口”を卒業式で歌ってほしい、そしてあの“感動をもう一度”と願わずにはられません。



奉祝

左:天皇陛下のお印「神」
右:皇后陛下のお印「ハ
マナス」北海道で海岸に
咲く紅色の大きな花に強
い印象をお受けになった
天皇陛下が選ばれた。

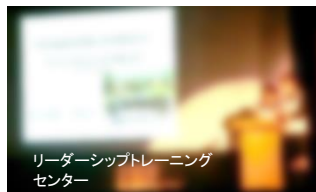
霜月祭（舞台発表）

南千住二中の文化祭「第31回霜月祭」の舞台発表が今年は30周年記念式典を27日(日)に開催するため、その前となる10月25日(金)と26日(土)の2日間にわたり行われました。25日(金)には、夏休みに参加した

JRC三首都交流会、リーダーシップトレーニングセンター、区ワールドスクールについての活動報告がそれぞれの参加者から行われました。



JRC三首都交流会



リーダーシップトレーニングセンター



区ワールドスクール

26日(土)の発表は生徒会本部による開会式から始まりました。前生徒会長の〇〇〇〇さん(3-4)のあいさつに続き、**霜月祭実行委員会委員長の〇〇〇〇さん(3-1)**が「令和という新しい時代に向けて、これまでの伝統を引き継ぎつつ、新たに南千住二中の歴史を築く霜月祭にしましょう」と呼びかけました。次に**霜月祭実行委員会の〇〇〇〇くん(3-1)**から今年のスローガン「**僕らの革命～咲き誇れ新時代へ～**」が発表されるとともに、生徒会本部役員たちが一斉にスローガンを覆っていた幕を引き、美しく咲き誇る花で装飾されたスローガンがライトに映し出されると会場から大きな拍手が送られました。

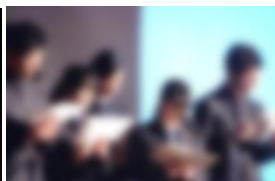


霜月祭実行委員会委員長の〇〇〇〇さん

はじめに**朗読部**の発表が行われました。朗読劇「**本**にあった怖い南千住」は、南千住で起こった不思議な出来事を紹介する怪談集。昔の映像と役になりきった朗読が相まって会場はひんやりとした空気に包まれ、観客はこわごとと聞き入っていました。つづいて**レスキュー部**からは、パワーポイントを使って、夏休みに行われた被災地派遣のようすや1年間の活動報告が行われました。

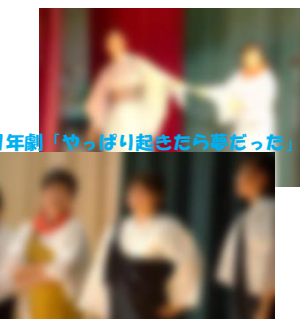


朗読部の皆さんによる朗読劇



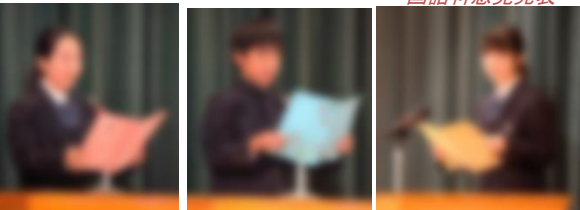
レスキュー部による活動報告

1年生の地域学習劇「やっぱり起きたら夢だった」は、明日で夏休みも終わるという日になって夏休みの宿題が終わってないことに気が付いた主人公が「夢だったらいいのに」とつぶやくと突然昔の南千住にタイムトラベルし、様々な人物や出来事と出会い南千住の歴史を楽しく学んでいくお話。最後はもちろん、歌とダンスで盛り上がりました。**国語科の意見発表**では、1年生からは、**〇〇〇さん(1組)**が「**行動が持つ力**」の演題で、2年生からは、**〇〇〇〇くん(1組)**が「**生物の命の価値**」の演題で、3年生からは、**〇〇〇〇さん(4組)**が「**平成から令和へ**」の演題で、聞く人を引き込むたいへん説得力のある意見発表を行いました。



1年生「やっぱり起きたら夢だった」

国語科意見発表



休憩を挟んで、**2年生の地域学習劇「204号室の恐怖と南千住の妖怪たち」**が上演されました。今年も、南千二中の5人が下田移動教室の肝試しから、南千住地域に伝わる妖怪たちを探してみようと盛り上がり、お馴染みの妖怪・カッパとみのわらじの案内で出会った妖怪たちをユーモアを交えて紹介しました。ラストには、**片目の大緋鯉の御輿が生徒たちに担がれ登場**し、威勢の良いかけ声と迫力あふれる姿に会場は大いに盛り上がりまし



2年生「204号室の恐怖と南千住の妖怪たち」

た。次に、各学年代表による**英語スピーチ**がありました。**1年代表の〇〇〇さん(2組)**は、「**The City Mouse and the Country Mouse**」と題して、田舎のねずみと都会のねずみの自慢話をユーモアあふれるスピーチで紹介しました。**2年生からは〇〇〇〇くん(2組)**が、「**Strawberries**」と題して、大好きな苺を見知らぬ婦人に食べられてしまったと勘違いした先生のお話を情感豊かに表現しました。**3年生からは〇〇〇〇くん(3組)**が、「**The First Penguin**」と題して、えさを獲るためにシャチなどの捕食者がいる海に最初に飛び込むペンギンの勇気を讃えるとともに、手を挙げる勇気がなくてチャンスを逃してきた自分を振り返り、はじめの1歩で人生が大きく変わることもある。恐れることなくファーストペンギンを目指したい、と力強く堂々と発表しました。



特別展示 韓国と日本

伊藤 錦之助副校長先生による特別展示「**韓国と日本**」が11月11日(月)～14日(木)の4日間図書室で開かれました。これは、韓国でベストセラーになった本や絵本、教科書などを通して、韓国の伝統や文化に触れることを目的としています。日本に一番近い国・韓国ですが、実際の書籍を手にすることも見ることも少なく、昼休みなどを利用して多くの生徒が図書室を訪れました。いろいろな本を開いては、真剣な表情で内容を読もうとしたり、写真などから受ける印象を友達同士で楽しく話し合うなど、韓国への興味と関心を広げる機会となりました。



左：韓国の中学校で使われている教科書
右：特別展示のようす

JRC 活動報告

10月に日本に上陸した台風第19号は、関東甲信地方や東北地方に記録的な大雨による甚大な被害をもたらしました。その一報を受け、JRC委員会では、**新委員長の〇〇〇〇さん(2-2)**を中心に、**被災者支援について話し合い、緊急支援として募金活動**を行いました。先月に続いての募金活動でしたが、生徒やご家族、教職員の協力と善意で集まった募金は、前回を上回る12,019円に上り、JRC委員会によって荒川南千住五郵便局から日本赤十字社へ災害義援金として送られました。

また、JRC委員会では、毎週金曜日の朝登校する生徒の皆さんに**ペットボトルキャップ集め**を呼び掛け、回収も行っています。今年度は10月末時点で合計195kg、83,850個を回収し、**幼い命を救うワクチン97.5人分**にかえることができました。**JRC委員会の発足から9年。集まったペットボトルキャップは、およそ300人分のワクチンとなり、途上国に届けられています。**11月18日(月)の生徒会朝礼では、JRC委員会の皆さんからこれまでの活動報告が報告されました。皆さまのご協力とご支援、ありがとうございます。



募金活動で
12,019円



ペットボトルキャップを集めて、ワクチン
97.5人分

「絆」創刊から 100号を迎えました！

学校だより「絆」は、平成22年4月にスタート。この年着任された齊藤 進校長先生が、校歌の一節にある、**「絆はかたく温かい」**学校を目指して命名し、以来およそ10年にわたり、ご家庭や地域に本校の学校活動を毎月お知らせしてきました。創刊当時の発行部数はおよそ250部。現在では、生徒数の増加やレスキュー部の絆ネットワーク活動により地域の高齢者宅にもお届けして、**100号を迎えた11月号では発行部数550部**を数えています。これからも皆さまとの「絆」を結ぶ学校だよりを目指して、内容を拡充していきますので、よろしく願いいたします。



JBCジュニア防災検定®

レスキュー部では、防災に関する学習、訓練を重ねて、防災検定や自由研究などに挑戦し、優秀な成績を収めています。

上級取得

〇〇〇〇さん(3-3)、〇〇〇〇くん(3-4)、
〇〇〇〇くん(2-1)、〇〇〇〇さん(2-1)、〇〇〇〇さん(2-1)、
〇〇〇〇さん(2-1)、〇〇〇〇くん(2-2)、〇〇〇〇さん(2-2)、〇〇〇〇さん(2-3)、

中級取得

〇〇〇〇さん(1-1)、〇〇〇〇さん(1-2)、〇〇〇〇くん(1-3)、〇〇〇〇くん(1-3)、
〇〇〇〇さん(1-3)、〇〇〇〇くん(1-4)